＜様式１０－１＞

令和4（2022）年度 児童館事業年間活動報告書

清水児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども育成活動	基本活動	(1) 日常の自由遊び活動	随時												日常的な遊びの見守りや、個々が自分の好きな遊びを見つけるための環境作り。遊びの継続・発展するための援助。子ども同士のトラブル時の援助、片付けの指導など。	・感染症対策を講じ、日々玩具、共有部分等の消毒や施設内の定期的な抗菌施工等をして、安心安全な施設環境を作るように努めている。今年度は更に利用者登録票の改善を図った。
		(2) 遊びの教室活動														
		遊びの教室 七夕飾りを作って飾ろう	4		1	19	1			1				22	七夕笹飾り工作や短冊に願い事を書いて飾る	・ホールに設置した笹に各自が願い事を短冊に書いて吊るしたり、作り方の手順を示した飾り作りコーナーで、高学年には、自分なりに工夫した個性豊かな飾りを作る子もいた。それを見た2年生が真似をして頑張って取り組む姿も見られた。七夕お楽しみ会に向けて良い環境作りもでき、七夕の曲をBGMに流しながら、ゆったりと作ることができた。しかし、数日間の期間設定をしたが、参加者数は少なかった。もう少し、雰囲気作りや目を引く豊富な素材も準備しておけば良かった。七夕お楽しみ会が2日で終わっているので、そこで一旦七夕に向けて区切りついたようになり、7月7日まで持続しなかった面もある。次年度は、お楽しみ会との兼ね合いも考慮して計画する方が良いと思われる。
		遊びの教室 ハロウィン飾りを作ろう	9			34								34	ハロウィン壁飾り工作（ガーラント）	・下校時間が遅い子が短時間でも参加できるように、一定のパーツを準備したことで、スムーズに落ち着いて作成することができた。また、自分なりの工夫もして個性的な作品を作る子もいた。
		遊びの教室 マンカラウイーク	6			34		7						41	マンカラ大会に向け、マンカラのルールを正しく知る機会を作り、繰り返し、いろいろな友達と対戦しあえるようにしながら練習をする。	・マンカラ大会に向け、チャレンジクラブの期間を広げ、遊びの教室として遊び方のルールを覚えながら、繰り返しいろいろな友達と対戦することができた。 ・大会自体は、少人数だったため、総当たり戦後、勝ち数の多い順で順位を決める。勝数の同じ子で3位、2位の決定戦をする。全員だれかと対戦するので、時間が空くこともなく集中して大会に参加できた。 ・参加人数の少なさはあるが、職員の見守り的には丁度良いくらいであった。
		遊びの教室 おひな様飾りを作ろう	3			12								12	空きヨーグルトカップを利用した工作 カップを土台にして、一定のパーツに顔や髪を描いたり、被り物や持ち物を貼り付けたり、着物の柄を選んで貼り付け雛人形を作る。	・エコ工作で雛人形作りの遊びの教室を行う。参加の子は、準備したパーツを基本に、自分なりの工夫をして個性豊かな飾りを作った。女子だけでなく、男子も「作ってお母さんにあげる！」と、喜んで制作する姿が見られた。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
12	子ども育成活動	基本活動	(3) 行事活動														
13			七夕お楽しみ会子ども実行委員会	4			18	5	4						27	七夕お楽しみ会当日に向け、子ども実行委員を募集し、12人がメンバーとなる。当日のお楽しみ会に向けての企画内容について話し合ったり、役割分担や準備、司会の練習などをする。	・メンバー募集段階から、ポスター作り等子どもが意欲的に取組み、役割分担では、自分のやってみたい希望を出し合って決めた。下校時間の関係で2年生が中心になり準備する時もあった。3年生以上の子は、下校時間は遅いが、練習可能な時間に担当者で打ち合わせをして台詞分けをしたり練習する自主的な姿や、司会進行の部分で今までの経験も活かし、全体の流れを把握した上で見通しを持ち、臨機応変な動きや対応が見られた。 ・当日に習い事があるが調整して参加できるようにした子、当日は参加できないが事前準備で頑張る子等、子ども実行委員会参加への本人の意欲を保護者にも伝え、子どもの意欲や達成感を保証していけるように対応できた。
14			七夕おたのしみ会	1		1	11	4	5		1				22	七夕お楽しみ会に子ども実行委員会の企画・進行で伝承的な季節感ある七夕の季節のお楽しみ会を実施。 「おりひめ・ひこぼしは誰だゲーム」、「星見つけゲーム」、待っている間の「七夕クイズ」等	・実行委員会の子どもが準備し、司会やゲームのルールの説明、ゲームの中での進行、待っている間のクイズの進行等、それぞれの役割を意欲的に楽しみながら成し遂げることができた。七夕お楽しみ会の開催日設定については、土曜日開催だと参加者のベースとなる学童クラブの出席者が少ないこともあり、七夕の日に近い下校の早い曜日に開催することも検討したい。
15			マンカラ大会	1			5		3						8	マンカラ週間で練習してきた成果を生かし、ルールを守って大会に挑む。	・コロナ禍でもあるので、コロナ対策の中、一定のルールを守りながら対戦を楽しむことができた。 ・総当たり戦で勝利数の多い子から順位を決定し、勝利数が同じ子の中で2位、3位決定戦をして順位を決める。全員が常に誰かと対戦するので空き時間もなく集中して参加できた。 ・参加人数の少なさはあるが、職員の見守り体制を考えると丁度良い人数であった。
16			Let`s子ども百鬼夜行子ども実行委員会	4			8	6	9						23	百鬼夜行当日に向け、事前に実行委員を募集し、当日に向けての相役割分担や準備、司会の練習などをする。	百鬼夜行に向けて、楽しみながら当日のゲームの準備を行い、ルール説明などを行う
17			Let`s子ども百鬼夜行	1		5	12	2	7						26	百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開ご、館外の社寺などへ散歩に出かける。企画や進行は、子ども実行委員会のメンバーが担う。	・東山に因んだ企画として「Let’ｓ子ども百鬼夜行」を実施。子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開した後、妖怪などの衣装を身に着けて、地域の社会資源を活かし散歩する。お世話になった寺社とは、事前に打ち合わせ、協力を得た。子ども実行委員の子ども達が前半のゲームにおいても、後半の散歩の最終地点での隣の児童館での進行も担当した。今後は、積極的に地域の方の協力を得て進めていきたい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
18	子ども育成活動	基本活動	冬休みおたのしみ会子ども実行委員会	4			15		9						24	冬休みお楽しみ会に向けての子ども実行委員を募集し、子ども実行委員が企画し、準備し、役割分担をして当日の進行をする。	・実行委員が事前に打ち合わせをし、準備を楽しみながら行い、主体的に動くことができた。 ・子ども達が、自主任せられる部分も沢山あった。
19			冬休みお楽しみ会	1			19	2	6						27	子ども実行委員会のメンバーが企画し準備をして進行するお楽しみ会	・子ども実行委員が主体的に動き、参加者も積極的に参加し、設定が苦手で入るのを嫌がる子もおらず、話を聞く場面では静かに落ち着いて聞いていた。トラブルなく穏やかに教えることができた。
20			節分おたのしみ会子ども実行委員会	3			9								9	節分お楽しみ会当日に向け、事前に実行委員を募集し、当日のお楽しみ会に向けての役割分担や準備、司会の練習などをする取組。	・予定した日に、下校が遅くて事前活動が出来ないことがあったり、2年生だけで決めて準備を行う場面もあった。他のメンバーには、経過報告をしてその続きを一緒に準備して当日を迎える。本番に向け、担当分けして練習をし始めていたものの、直前で体調不良となって出欠に変動があり、急遽担当を変更し、一人が何役も受け持ったり、ほぼぶっつけ本番の状況となったが、メンバーは、責任感を持って臨機応変に対応して達成感を持つことができた。
21			節分おたのしみ会	1			14								14	・節分お楽しみ会に子ども実行委員会の企画・進行のもと、伝承的な節分についての由来等を知ったり節分に因んだ遊びを体験する機会。 ・「鬼見つけ」、待っている間の「鬼のばくだんゲーム」	・今年度も、コロナ禍で密を避けるために全員参加制ではなく、実行委員のメンバーがPRし、参加希望者を受け付けて実施。今までの経験からの楽しかった「見つけ」ゲームと「ばくだんゲーム」をうまく組み合わせ、「鬼さがし」の待ち時間に「鬼のばくだんゲーム」をすることを企画し進行する。 ・企画した内容について、メンバーの思いの中には、お楽しみに秘密にしながら準備を進める思いであったため、当日の呼びかけの時に、どういうゲーム化をイメージしにくく、職員が説明をすることで、参加に繋がった子もいた。今後も、メンバーの思いを尊重しながら、呼びかけが参加に繋がるように、全体への丁寧な周知ができるよう支援していく。
22			きよみずじどうかんまつり（中止）													今までの「きよみずじどうかんサンサンまつり」の名前を「きよみずじどうかんまつり」に変更して行う。 子ども実行委員会を発足し、メンバーの募集をして企画を相談して決定し、協力し合って準備し当日の進行を行う。	新型コロナ感染症拡大防止のため中止

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
23	子ども育成活動	基本活動	（4）クラブ活動														
24			むかしあそびクラブ	33		4	135	2	31						172	けん玉やコマなどの伝承遊びや検定試験、季節にちなんだ遊びを楽しむ。	・クラブ活動の時間には内容によって、子ども自身がテラス遊びの予定を確認して、予約して参加する子が多かった。 ・「将棋」の時には、テラス遊びの合間に途中まで行ない、続きをまた合間で行うなどの場面もあった。活動としては収集つきにくいが、本人の意思を尊重して、柔軟な対応をすることとした。 ・活動の声かけのタイミングを意識したり個別に声掛けなどを参加率が上がるように工夫をした。 ・参加した子は意欲的に取組み、多岐に渡る遊び体験ができたが、参加したことのない子どももいるので、どういった内容が良いかなど子ども達にも問いかけながら、子ども達が興味を持って参加できる内容を計画していけるようにしていきたい。
25			チャレンジクラブ	36		3	244	6	38	1		1			293	工作をしたり縄跳びや段跳び、ゲーム等、遊びの記録に挑戦したりするクラブ活動。	・クラブ活動の時間には内容によって、テラス遊びの時間と重ならないように自分の遊びの計画を考え、予約して参加する子が多かった。 ・テラス遊びの合間に途中まで行ない、続きをまた合間で行うなどのスタイルも活動としては収集つきにくいが、本人の意思を尊重して、柔軟な対応をすることとした。 ・子ども達が興味を持つ記録に挑戦の各種の内容や工作などは、人気で意欲的に取組み、その様子からまた他の子が参加するなどの広がりがみられた。制作などでは、自分が制作後、準備や手順を自主的に教えたり、材料の準備など期間中に手伝う子の姿もあった。 ・マンカラ教室に向けての遊びの教室と並行して、チャレンジクラブマンカラ週間としての取り組みも行った。 ・取り組み内容が多岐にわたり、様々な体験が提供できて良かった。内容によっては、習い事で参加できない子がいたり、もう一つ作りたい等で、延長して実施することもあった。今後も、子ども達に様々な分野の体験ができるよう、教材研究しながら、多岐に渡る内容の遊びを提供していけるようにしてい
26			チャレンジクラブ延長版	1			8								8		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
27	子ども育成活動	基本活動	高学年クラブ	12				29	31						60	高学年が自分たちで企画を考え、やりたいことを実現させるとともに仲間と協力して達成する喜びを知る取組。 5月21日　説明会＆キラキラボトル作り 6月18日　キラキラスライム作り 7月2日　七夕お楽しみ会準備とお楽しみ会本番 7月9日　アクアビーズ 8月27日　プラバン 9月10日　ハンコを作って遊ぼう 10月1日　ビー玉コースターを作ろう！ 11月12日　マスコット作り 12月3日　動くおもちゃ作り 1月21日　毛糸指あみ 2月18日　しおり作り（写し絵をした物を貼り付けラミネート） 3月11日　風船スライム	・高学年クラブのメンバー募集をした際に、子ども自身の参加希望通りに家庭の事情や習い事等で、保護者の参加協力をお願いするも、調整できずに参加できない子どももいた。また、登録はしたが、その日の活動内容で参加を決めたり、テラス遊びの内容を見て参加の有無を判断する子などメンバーによって様々であった。固定メンバーで年間通しての積み重ねというには至らない場面が多かったが、メンバー全員が学童クラブに所属しているメンバーや元学童クラブ児童であったりメンバーの友達である等、既に繋がりもあり気心も知れている関係からのスタートで、それぞれの個性も認め合い、活動の取り組み方の中でも個々の希望を認めながら調整し、行なうこととした。また、正式メンバー外の子も、活動内容によっては参加できるように柔軟に対応した。 ・コロナ感染症拡大防止のため、取り組み内容が限定され、子ども達にも保護者にも理解をしてもらい、限定された中からのメンバーの希望する内容で計画した。 ・自分たちのやりたいことだけでなく、児童館の行事の中での高学年クラブからの実行委員の主軸となっての動きを期待して、「高学年クラブ」＝「子ども実行委員会」という捉え方で当初取り組んでいたが、メンバーの中には、内容によっては抵抗を示す子もいたため、年度途中から、切り離して考えるようにした。 ・次年度も、感染症に関しては状況をみながら、活動の枠を少し広げて、充実した取組になるようにしていきたい。
28			（５）地域間交流促進活動														
29			防災訓練	9		1	169	1	51						222	火災や地震等について、DVDや職員の話を聞いての学習をすると共に、実際の訓練をする。	・DVDや紙芝居などの教材を使用し、子ども達にとって分かりやすく防災学習が出来た。 ・学習で学んだことを活かし、実際に避難訓練を実施できた。避難時、集中力が欠けてしまう子がいた。再度、訓練は遊びではないことを伝えた。 ・東山消防署の方に、当初は夏に花火指導も兼ねて実際に訓練の様子を見て頂く予定をしていたが、新型コロナのこともあり調整がつかず、年度末に子ども達に避難する時のポイントを話してもらい総括をする。子ども達は熱心に聞いていた。また、職員の動き方や、実際に火事が起きた時の職員の役割分担などのアドバイスを頂いた。今後も、連携をとりながら子ども達やその過程に向けての防災意識を高めていけるよう努めていきたい。
30			交通安全教室＆ワークショップ	1			9		6						15	東山警察署の方による、交通安全教室とワークショップ	・警察の方による、クイズ形式での学習を子ども達も熱心に聞いていた。ワークショップでは、今日学んだことを振り返って家庭の人に何を伝えるかをまとめる時間が持たれたが、子ども達は疲れてしまい、一部の子ども達が取組むこととなった。交通安全に関しては、年度当初や長期の休みなどの節目に児童館からお願いしているが、毎年夏休みに警察署の方の主催の事業として当活動を実施。 ・交通安全に関しては、繰り返し学習して気を付けていってほしいと願うので、今後も連携を取りながら、相互に子ども達や家庭に向け、交通安全の啓発に努めていきたい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
31	子ども育成活動	基本活動	防犯教室	1			15		6		1				22	生活安全課の方から、不審者が現れた時、いざという時にどうするかの話を聞く。	新型コロナ感染防止のため延期をして実施。日程調整で児童館だよりにおける周知はできなかったので、学童クラブ児童対象にDVD学習と生活安全課の方の話を聞いて、いざという時に備えての学習ができた。職員向けの防犯教室も秋に実施した。その際には、東山区内の児童館に声をかけて研修と言う形で行った。
32			東山老人福祉センター多世代交流会での発表（中止）													東山老人福祉センターが開催する多世代交流会に児童館の子ども達が参加しステージでの発表をしたり、マジックショー等の出し物を鑑賞する。	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
34			（6）障害のある児童の居場所つくりと活動への参加促進	随時												自由来館対応	・学童クラブに入る前に様子を見に来るなど、自由来館の利用が見られた。 ・特に積極的に環境を作って居場所つくりや活動への参加促進はできていない。
35			（7）思春期児童の活動支援														
36			中高生タイム	9						2					2	・中高生がその都度、自分達のやりたいことを企画し、交流の一時を持つ。 ・やりたいことが実現できるように支援する。	・コロナ禍で利用が少なくなったが、バスケットやサッカー等、テラスでのスポーツを目的に日常的な利用が多かった。 ・利用者票や健康チェックが必要となっても、継続して利用が見られた。 ・定例の活動時間には都合がつかないことが多く、自分たちの空いた時間に自由に利用する参加者が多く、良き居場所になっている。 ・小学生との関わりの中で、お兄さんお姉さん的な存在となり、遊びの中でも良きリーダーとして上手く関わってくれる姿も見られた。 ・感染防止のため、利用の仕方を変えたり、小学生との関わりに制限をかけたりしまがら、状況を見て取り組んでいく必要がある。 ・学校帰りに、学校や家庭、進学などについての悩みなどを職員に話に立ち寄る時もあった。思春期児童に寄り添いながら対応していきたい。
37			(8) 子どもの相談・援助活動	随時													
38			(9) エコ活動														
39			リサイクル工作													0歳児教室では乳酸菌飲料の空ボトル、チャレンジクラブ活動の取組で牛乳パックやヨーグルトカップ他、廃材利用をした工作をする	エコを意識して、様々な制作遊びが体験できる機会が作れた
40			年末大そうじ	1			13		5						18	日頃利用している児童館内を、みんなで手分けして掃除したり、整理整頓する。	・コロナ禍もあり、今年度は学童クラブの取組として実施。日頃利用している児童館の掃除や片づけを、自分の希望する担当個所に分かれて熱心に取り組む姿が見られた。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
41	子ども育成活動	基本活動	ゴミの分別	随時												燃やせるゴミ、プラスチックゴミ等、分別できるようにする分別ゲームなどをする機会を持つ。エコまちステーションの方に、4月からゴミの分別方法が変わることもあり、家庭への啓発用のパンフレットや缶バッチをいただく。	従来から施設内に分別できるようにゴミ箱を設置しているが、再度意識づけられた。
42			ニコニコデー	1			22	2	7		1				32	東山エコまちステーションの方に講師になってもらい、環境学習のワークショップで、分別クイズをグループに分かれて、みんなで考えて回答する。	・ニコニコデーの実施は、コロナ禍でなかなか実施ができなかったが、今年度は日程調整がとれ、エコまちステーションの方に来ていただいてのワークショップを実施することができた。クイズを通してゴミの分別についてグループで考える機会が持てた。異年齢のグループを可能な限り作ったところ、学童クラブの子ども達がほとんどではあるが、来館していた高学年の子もグループに入って一緒に活動に参加することができ、高学年の子ども達が低学年の子ども達の意見も聞きながら、グループで話し合って答えを出す姿が見られた。
43			ペットボトルキャップやプルタブ回収事業	随時												老人福祉センター、区社協にスポットを置き、エコキャップを回集して、整理し回集団体に取りに来てもらう。	・2008年9月から回収事業を開始し、「世界の子どもにワクチンを届ける」という活動に、子ども達と「エコキャップ活動」を展開し、地域の方の協力を得てきたが、近年プラスチックを取り巻く環境が大きく変化する中で、プラスチックの使用量を削減することの優先度を考え、2022年12月で終了することとした。
44			子ども用品・子育て用品「譲ります！貰います！」事業	随時												子どもの成長とともに使わなくなる子育て用品・子ども用品を譲り合うことで,エコの推進と子育て世代の交流を図る取り組み。 【ゆずります・もらいます掲示板】を設置し,利用者がそれぞれ要らない物,欲しい物を専用の掲示用紙に記入し掲示板に貼りだす	児童館で使ってくださいと申し出はあって受け取ることはあったが、新型コロナの感染防止の点からも、当事業を広く周知できておらず、活発な展開ができていない。
45			（10）中高生と赤ちゃんとの交流活動													次世代の親となる思春期児童が、妊娠・出産等に関する知識を習得し、赤ちゃんやその家族とふれあう機会をもつことにより中学生・高校生の健全育成を図るとともに、将来,子育てに関わるときの貴重な予備体験として育児不安からくる虐待の予防につなげることを目的とした乳幼児と中・高校生世代等との触れ合い体験の取組	年間4回の実施や、中高生のみを対象にした実施に向けられていないが、いずれ中高生になっても取り組みへの関心を持っていけるよう夏休みに「乳幼児さんと遊ぼう！」の取り組みを予定したり、「児童館まつり」の中で乳幼児向けのコーナーを子どもスタッフが手遊びやお話会を企画するなどの年もあったが、芯新型コロナ感染防止のため交流の取組はできていない。
46			合　　計	124	0	14	726	59	218	3	3	1	0	0	1024		
47																	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
48	子どもの育成活動	推進活動	（11）子どもが地域を知る活動														
49			菖蒲まつりで子どもみこしをかつごう！（中止）													地域の若宮八幡宮社との連携の祭事における子ども神輿かつぎ。	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
50			陶器まつりで子どもみこしをかつごう！（中止）													地域のまつりの子どもたちによる神輿かつぎ。	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
51			清水ふれあい夏まつり（中止）													清水学区自治会主催の地域の夏まつりにコーナー参加 実行委員会、当日を含め、児童館のPRや地域の方々と交流する機会	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
52			Let`s子ども百鬼夜行	1		5	12	2	7						26	館内で妖怪等に扮して百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開した後、館外の地域の社寺へ散策に出る。企画や進行は、子ども実行委員会のメンバーが担う。	・東山に因んだ企画として「Let’ s子ども百鬼夜行」を実施。子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開した後、妖怪などの衣装を身に着けて、地域の社会資源を活かし散歩する。お世話になった寺社とは、事前に打ち合わせ、協力を得た。子ども実行委員の子ども達が前半のゲームにおいても、後半の散歩の最終地点での隣の児童館での進行も担当した。今後は、積極的に地域の方の協力を得て進めていきたい。
53			ロクフェス（六原学区の文化祭）													ステージ催しと作品展示	従来の祭は、新型コロナ感染症拡大防止のため中止され、「ロクフェス」として文化祭を開催され、児童館は展示ブースに子ども達の塗り絵作品や折り紙、La.Qの作品を展示。地域の方と一緒に準備し、地域に児童館をPRすることができた。
54			東山ふれあいリレーマラソン													はぐくみネットワーク実行委員会による取り組み	・会場が東山泉小中学校のグランドであるため、開睛館小中学校からの参加は少なかったが、地域の各種団体や乳幼児親子の参加もあり、地域が一丸となって健全育成を目的に活性化につながっている。
55			きよみず交通安全ふれあい広場（中止）													東山警察署や清水交通安全対策協議会、小学校のPTAや地域の役員さんの連携のもと、参加者は世代間交流をしながら交通安全を学ぶ。	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
56			(12)移動児童館													児童館機能を地域に出て展開する	「青空児童館」や、乳幼児事業「おでかけぽっぽ」の園庭開放に参加することも、新型コロナ感染防止のため参加の仕方や展開が難しく、活動が再開されても参加者はほとんど無かった。 「左京東山児童館学童保育所まつり」での一日児童館はコロナ対策を講じて実施したが、当館の児童や親子の参加はみられなかった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
57	子どもの育成活動	推進活動	(13)大学生と勉強をしよう！	23			398		123				35		556	子ども達の身近な場所である児童館において、ひとりひとりの子ども達が生まれて育った環境に関係なく、学び、成長していける社会実現に向け。大学生などのボランティアが学習支援や相談に応じる取組	・今年度は2人の大学生の学習ボランティアが学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後、一緒に遊び、いろいろな話を聞いてもらう関係が作れた。次年度も、就活などと並行しながら可能な範囲で継続してくれるとのこと。「大学生と勉強をしよう」の取組が一般事業であることから、17時までの取組とされること、夏休みには学童クラブの保育の中での勉強時間と開館時間は開館前の時間に済んでいることもあり、一般事業としての枠で考えていくとズレもあるため、取組時間が限定されてくる。今後も、来館者の中で長期休みに「宿題をしたい」「教えてほしい」等と来た時にも、柔軟な対応をしていきたい。
58			合　　計	24	0	5	410	2	130	0	0	0	35	0	582		
59		子ども育成機能　合　計		148	0	19	1136	61	348	3	3	1	35	0	1606		
60																	
61	＊注　基本活動は，指針に基づき（２）遊びの教室活動（３）行事活動（４）クラブ活動（５）地域間交流促進活動（６）障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進（７）思春期児童の活																
62		推進活動は，指針に基づき（９）地域を知る活動（１０）移動児童館活動に分類して記入すること。															
63		指定活動は，指定児童館のみ別途報告すること。															

＜様式１０－２＞

令和４（２０２２）年度　児童館事業年間活動報告書　（京都市清水）児童館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども家庭支援活動	基本活動	(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動														
		①乳幼児クラブ活動													登録制の乳幼児クラブ。親子体操、ふれあい遊び、設定遊び（工作・リズム遊び・感触遊びなど）	・年間を通して参加者が少なく、活動が成り立たない日もあった。 ・対象年齢を定めずにいたが、参加者が1歳未満児の参加が中心で、対象者に合わせて分かれて対応することにはならなかったので、進行上や体制上にも無理なく済んだ。 ・活動参加の親子は、家庭の事情もあり、決められた時間に来るよりも、その日の都合の良い時間に来られたり、他館の広場に参加してから立ち寄られるなど、様々なニーズに合わせて利用されることが多く、定例活動に継続的に参加するという形ではなかった。 ・今年度は、前年度の課題も考慮し、登録制を取りやめ、コロナ対策として予約制で参加組数も制限をして少人数でゆっくりと遊べるようにした。事前予約をしても、当日の都合がどうなるか分からない、予約することが面倒であるなど、参加親子にとって気軽にその日の都合に合わせて利用するという居場所から遠のいた面もあって、利用者が更に減少した。 ・次年度は、名称や開催曜日は変更せず定着させて、敷居を高くしていた予約制という限定は外して臨むことにする。 ・参加者は、ほぼ0歳児親子なので、取り組み内容を0歳児を中心に考え、活動内容に工夫改善をするとともに、更に丁寧な対応に心掛け、楽しく親子で利用できる居場所となるようにしていきたい。
		うさぴよクラブ	23	18						18				36		
		②乳幼児の広場活動													児童館の開館時間内に親子が自由に過ごす	・コロナ感染症感染防止のために、広場についても、予約制、参加組数5組と限定をして行っていた。 ・参加の親子は1～2組で、参加のない日もあった。日頃から利用しておられた親子が、予約制となったことで利用しにくくなったという声が聞かれ、いつまで制限を設けるか等、状況をみながら検討をして臨んだ。 ・総合庁舎内にある保健センターや図書館、区役所に来たついでや、市民体育館の試合途中に託児担当の人が利用される等、合築ならではの利用の仕方があった。 ・実家に帰って来られた際や、実家の近くに引っ越しをしてきて保護者が懐かしみながら利用されたり、母親のお産のために祖母がかわりに連れて来られたり、観光客が家族で利用されることもあり、多世代の利用があった。 ・前年度の課題に、長期休みや土曜日に学童クラブ児童が多くいる時間帯であると、対応に困ることもあったこともあり、コロナ対策上においても、学童クラブの保育中には親子の来館は控えてもらうような形にした。そのことで、本来の年長者と乳幼児の交流など、児童館らしい日常の姿は展開しづらいが、今後も、コロナ対策を講じながら状況を見て、気軽に利用できホッとできる居場所作りや、可能な方法での多世代交流の場の提供に努めていきたい。
		子育てほっと広場	49	62						66				128		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U
11	子ども家庭支援活動	基本活動	わいわい広場	17	25						26				51	児童館の開館時間内に親子が自由に過ごす 滑り台や自動車、ボール等、体を動かして遊べるような環境を作り、11時20分から親子で体操をする	・前年度の「きよみずワイワイ子育て広場」を「わいわい広場」に名称変更し、普段出していない自動車や滑り台などの遊具を設置する取組とした。偶然その日に来館した親子が楽しむ場面はあったが、その日の取組を楽しみにして定例的に利用する親子は無かった。また、利用者の中には、まだ体を動かして遊べない月齢の親子の来館もあり、利用者としては、内容よりもその日の居場所を求めての利用がほとんどであった。来館者の遊ぶ状況に合わせて、その日の流れで親子体操も行える日と、行えない日があった。普段の「子育てほっと広場」との区別がつきにくい日もあるので、今後は、もう少し特色立てた活動日とできるよう工夫していきたい。	
12			（2）家族参加を促す活動															
13			乳幼児さんよっといデー	3	12						14				26	・家族参加を促す活動として、「乳幼児さんよっといデー」の取組の中で、家族向けの講座を行なったり、季節行事の中で多世代交流ができる機会 ①4月26日　1組参加　「ふれあい遊び＆お話ショー」（東山図書館との連携） ②10月25日　4組参加　「ちびっこハロウィンde多世代交流」どんぐり広場（つどいの広場）との連携で実施。児童館内で、親子が手作り衣装を身に着け、バッグを持って親子でコーナーを回り、いろいろなふれあい遊びや、ミッションを楽しむ。 ③11月29日　7組参加　「親子防災講座＆消防車見学」消防署との連携で、講話による防災の学びと実際に親子で避難訓練の実施と訓練見学や消防車見学をする。 ④2月14日　1組参加　子育て講座「歯の話」。子どもはぐくみ室との連携で歯科衛生士さんの講座を受ける。	・家族参加を促す活動として、「乳幼児さんよっといデー」の取組の中で、家族向けの講座を行なったり、季節行事の中で多世代交流ができる機会として、参加者募集をし、取組んだ。消防自動車見学の日や「ちびっこハロウィン」の日は人気であったが、その他の日は1組の参加しかなかった。常から来館が少ない上に、コロナのこともあり、声をかけることが難しいことも関係している。今後も、感染症の状況を見ながら、講座や季節行事の他にも、母子、父子だけでなく、家族が一緒に楽しめる内容の検討や、家族参加を促す活動としての開催曜日なども検討していきたい。	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U
14	子ども家庭支援活動	基本活動	０歳児教室	8	7						10				17	０歳の乳児親子の教室 ＜前期＞ 5月25日　手作りおもちゃ作り 6月8日　東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃんと絵本」 6月22日　東山子どもはぐくみ室管理栄養士の方による「離乳食教室」 7月6日　パパママ企画で楽しもう！（七夕） ＜後期＞ 10月5日　手作りおもちゃで遊ぼう 10月28日　東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃんと絵本」 11月16日　東山子どもはぐくみ室保健師による子育て講座　「冬に向けて」 12月7日　パパママ企画で楽しもう（クリスマス）	・前年度は、新型コロナの感染防止のため計画が、その通り実施することはできなかった。 ・子育てに関わる参加者を、母親だけでなく父親や祖父母等、層を広げて募集はしているが、参加されるのは母親だけであった。 ・講座開催前のアンケート調査により、聞きたいことが事前に把握でき、講師に当日答えを返してもらえて参加者の満足に繋がった。 ・同じ参加者が、講座や交流の取り組みを通して繋がりが持て、活動終了後も「ほっぺちゃんクラブ」に参加され繋がりが継続できて良かった。 ・今後も、充実した活動を提供を目指し、他機関と連携して実施していきたい。	
15			おでかけぽっぽ（善立寺保育園）	11												近隣の児童館に職員が出向き、近隣親子の遊び場のひとつとして園庭開放を通して保育園児や先生方とふれあう機会とする。	・コロナ禍で参加申込者が少なかったが、気分転換に砂場遊びを体験させたい、異年齢の交流も楽しませたいという思い、また、どんな園か見たいという思いからの参加者にとっては、貴重な活動であり喜ばれている。 ・天候に左右されることや乳幼児の年齢等でも園庭開放だけでは困難なこともあるが、コロナ禍のこともあって園舎に入らせてもらうことも困難であるため、状況をみて柔軟な対応をお願いしていくようにしたい	
16			おでかけぽっぽ（しんかくじこども園）	11														
17			とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場との連携）	9	29						29				58	区社協内の部屋を借りて開催されている「とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場）」（毎月2回）乳幼児親子のふれあい遊びやお話会、手作り、コンサートや講座等	・親子が少ない学区で単独開催では難しいことから、児童館との連携をして相互に広報をしているが、相変わらず参加者は少ないこともあり、地域の子育てサークル「ひなたぽっこ」と同日に開催される日を今後は毎回されるように変更させる。 ・間接的に地域の子育てサークルを支援していくこともできるので、児童館としても繋がりが持てててありがたい。	
18			あかちゃんお楽しみ会（図書館との連携）	10												図書館が開催する乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせ	乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせ、図書館行事に、家族で参加できるように周知し、直接母親にPRできる機会となった。図書館に来たついでに児童館へも足を運ばれる機会に繋がるので、開催の際にはPRの機会として大事にしてきた。今後も変わらず相互に連携し、利用者が家族で参加していける機会をとしていきたい。	
19			すくすく広場	1												東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室が実行委員となり、東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブなどの協力を得て遊びのコーナーやステージ、工作等の広場を展開	広く東山区内の乳幼児向けの広場を、区内の関係機関が連携し、いろいろな遊びのコーナーやステージを、それぞれの機関が協力し合って実施。「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。	
20			合　　計	119	135	0	0	0	0	0	145	0	0	0	280			
21																		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U
22	子ども家庭支援活動	基本活動		子どもの年齢		件数	受理及び相談経路					件数		相談内容			つないだ機関等	件数
23																		
24				乳児			児童館にて直接受理					1		健全育成問題				
25				幼児			児童相談所							家庭養育問題			小学校、B型就労支援事業所	1
26				小1～3年（自由来館）			保健所							成長・発達問題				
27			(3)子育て家庭相談・援助活動	小1～3年（学童）		1	子ども支援センター							教育問題				
28				小4～6年（自由来館）			主任児童委員							非行・問題行動				
29				小4～6年（学童）			その他							その他				
30				中学生														
31				高校生														
32																		
33				件数　計			－							－			－	
34						1						1						1
35				グループ名			構成人数		活動内容							育成・支援内容	成果と課題	
36																		
37			(3)子育てグループを育成・支援する活															
38																		
39																		
42		推進活動		活動名			実施回数		活動内容								成果と課題	
43																		
44									京都市は、出産家庭に対して「こんにちは赤ちゃん事業」による保健師の家庭訪問時に「出産お祝いレター」「子育て応援パンフレット」等とともに,「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」を配布されている。この引換を児童館ですることによって、引き換えの際に児童館を知ってもらえる機会としている。								東山区総合庁舎の一角にあり他施設と合築の為、保健センターで引き換えられることが多いようで、児童館まで足を運ばれることは少ない。そのため、引換に来られる方は既に児童館を知っておられることが多く、引換えを通して児童館の存在をアピールするということまでには至っていない。	
45			(5)子育てと健全育成に関する啓発活動															
46				京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換				0										
47																		
48																		
49																		
50																		

51 ※注　基本活動は，指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動　②乳幼児の広場活動]（２）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

＜様式１０－３＞

令和4年（2022）年度　　児　童　館　事　業　年　間　活　動　報　告　書　　（京都市清水）児　童　館

			活動名	実施回数	主催	参加人数 乳幼児	小1～3年 自由来館	小1～3年 学童クラブ	小4～6年 自由来館	小4～6年 学童クラブ	中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
地域福祉促進機能	基本活動	(1)地域住民との交流を促進する活動	蒸籠まつりで子どもみこしをかつごう（中止）		若宮八幡宮									清水児童館	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			陶器まつりで子どもみこしをかつごう（中止）		若宮八幡宮・陶器組合青年部									清水児童館	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			防火防災コンサート（中止）		東山消防署									清水児童館	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			ロクフェス（六原学区の文化祭）	1	六原自治連合会ロクフェス2022実行委員会									清水児童館	ステージ催しと作品展示の文化祭。児童館として地域住民の方とふれあいながら準備し、児童館の子ども達の塗り絵や折り紙、La.Qの作品を展示。地域の方に児童館をPRする良い機会となり、地域の方がたとの繋がりがコロナ禍で薄くなってきているが、可能な範囲で繋がれて良かった。
			清水ふれあい夏まつり（中止）		清水自治会連合会									清水児童館	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			子ども交通安全教室・防犯教室	1	清水児童館									清水児童館	東山警察署やスクールサポーターさん協力を得て、子ども達に交通安全と、不審者と遭遇した時にはどうすべきかの学習をする。、警察の方やスクールサポーターの方との交流を持ち、地域の中での顔見知りとなる機会が持てた。
			清水交通安全ふれあい広場（中止）		清水交対協									清水児童館	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			東山老人福祉センター多世代交流会での発表（中止）		東山老人福祉センター									清水児童館	新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			東山ふれあいリレーマラソン	1	東山玖はぐくみネットワーク実行委員会									清水児童館	会場が東山泉小学校であるため、開睛館小中学校からの参加は少なかった。参加をすれば、地域の各種団体や乳幼児親子との交流ができるので、当館利用の子ども達や家族にも周知していきたい。
			Let's子ども百鬼夜行	1	清水児童館										・東山に因んだ企画として「Let’ｓ子ども百鬼夜行」を実施。子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開した後、妖怪などの衣装を身に着けて、「六原珍皇寺」「建仁寺」を抜けて「摩利支尊天堂」等、地域の社会資源を活かし散歩する。お世話になる社寺とは事前に打ち合わせ、協力を得た。参加者の保護者等が、自主的に交通安全の見守りをしてくださった。今後も、地域の社会資源に目を向け、積極的に地域の方の協力を得て交流しながら進めていきたい。
			きよみずじどうかんまつり（中止）		清水児童館										新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			左京東山児童館・学童保育所祭り	1	京都市児童館連盟									左京東山の児童館	当館からの子ども達の参加は見られなかったが、実行委員、要員として関わりながら、児童館職員同士や協力団体のの広く左京・東山区内の子ども達との交流が持てた。
			すくすくひろば前日準備	1	東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室									東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブ	広く東山区内の乳幼児向けの広場を、区内の関係機関が連携し、いろいろな遊びのコーナーやステージを、それぞれの機関が協力し合って実施。「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。
			すくすくひろば	1											
			福祉ボランティア・社協フェスタ（中止）	1	京都市福祉ボランティアセンター・京都市内の社会福祉協議会										新型コロナ感染症拡大防止のため中止
			合計	8	―	0	0	0	0	0	0	0	0		

地域福祉促進機能

基本活動

(2)ボランティア活動の推進

活動内容	活動人数 中高生	大学生	大人	合計	成果と課題
中学生生き方探求チャレンジ体験受け入れ（１人）	5			5	3年ぶりに受け入れることができた。児童館職員になりたいという生徒であったため、前向きな取り組みができた。
中高生ボランティア	4			4	元々は、児童館利用者や元学童クラブの中高生が、自分たちの遊びたい時や先生と話したい時、小学生と一緒に遊びたいと思った時に利用をしていたが、コロナ禍で交流も厳しくなり、利用の仕方に制限をかけ、ボランティアとしての受け皿を作って、それに賛同した中高生が学校帰りなどに立ち寄り、小学生の宿題を見てくれたり、色んな遊びの中での良きリーダーとして活躍をしてくれた。今後は、いろいろな児童館事業の中での活躍場面も検討していきたい。
学習ボランティア		2		2	・地域の子ども達の安心・安全な居場所である児童館という施設の特性を活かし、「大学生と勉強をしよう」の活動において、大学生の協力を得て「学習習慣の確立」など、子ども達の生活支援をすることができた。 ・前年度から引き続き継続して学習ボランティアとなってくれた大学生が、自分の知り合いにも当館での取組を紹介してくれて、大学生ボランティアが二人となり、新型コロナの関係で実施が難しい時もあったが、継続して活躍してくれていることで、子ども達との信頼関係も築け、勉強だけでなく一緒に遊び、交流もできている。次年度は、就活で忙しくなるようだが、可能な限り関わっていってもらう予定である。
合計	9	2	0	11	

(3)地域との連携を促進する活動

連携団体等	連携内容	成果と課題
東山区子どもはぐくみ室	児童館だより配布、4か月検診時待合室託児＆東山の児童館PR、情報誌「ふわりん」の記事掲載協力、ポスター作成、WEB情報提供、 0歳児教室の子育て講座の講師派遣：管理栄養士、保健師、歯科衛生士 ・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」が立ち上げられ、東山区内の児童館・つどいの広場・東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室が主催となり、区内の保育園（所）や認定こども園・幼稚園、東山区民生児童委員会、東山区まちじゅう図書館プロジェクト、京都洛東ロータリ^クラブに協力を得て、手遊びや音楽あそびのステージ、ア曾比のコーナーや、工作コーナー等を展開する。	・児童館だよりの配布や情報誌の発行に向けての記事掲載協力、ポスター作成、東山区の子育て情報やWEB上での情報提供等は、連携の中で問題なく取り組めた。連携事業については。児童館の「０歳児教室」で子どもはぐくみ室の管理栄養士や保健師、「乳幼児さんよっといデー」で歯科衛生士に講師になってもらい、専門家からの視点での指導を受けたり、育児の悩みに対応してもらうことができた。 ・コロナ禍もあって、当館の乳幼児事業への参加者も少なくなったことで、次年度の事業の再構築に向け、相談もし、「ふわりん横丁」での児童館の担当日を設定してもらうこととなった。その機会を有効に活かし、PRをし繋がっていく機会とする。 ・「すくすくひろば」においては、広く東山区内の乳幼児向けの広場を、共に各関係団体や機関の方々との連携、協力を得て開催することができた。
東山図書館	・児童館だより配布、おはなし会参加(月１回）、赤ちゃんのおたのしみ会参加(月１回）、子ども読書の日記念事業お楽しみ会、０歳児教室「赤ちゃんと絵本」の講座での講師派遣等 ・Let's百鬼夜行における最終ポイントとして協力頂く	・「あかちゃんのおたのしみ会」では、直接母親にPRできる機会となり、図書館に来たついでに児童館へも足を運ばれる機会に繋がるので、開催の際にはPRの機会として大事にしていきたい。 ・０歳児教室の中で、「赤ちゃんと絵本」をテーマに講師となってもらい、子育てに関わる方々向けに話をしてもらった。絵本が親子のふれあいための良きツールとなることを話してくださり、読み聞かせの実演もしてもらう。また、絵本を選ぶ際のポイントについても聞くことができた。 ・今後も、階下が図書館であるので、図書館を利用する子ども達の利用マナーについても、常に情報を共有しながら、図書館と共に子ども達の豊かな感性の育ちに繋がるよう、読み聞かせや読書の機会を大切にしていきたい。
六原・清水　学区自治連合会・民生児童委員	児童館だより地域回覧依頼、夏祭りなどの地域行事の要員参加、ハロウィンパレードやじどうかんまつり等の行事への協力依頼	・児童館だより地域回覧や民生児童委員さんに配布することはできたが、夏祭りなどの地域行事の要員参加は地域の行事自体が、新型コロナの関係で中止になり、できなかった。また、ハロウィンパレードやじどうかんまつり等の児童館の大きな行事での地域との連携協力依頼については今年も中止にして、行事自体の持ち方や内容を変えて行う形で実施した。次年度の持ち方についても、コロナの状況を見て考えていく必要がある。
東山老人福祉センター	エコキャップ回集協力、児童館だより配布、相互のたより交換、事業案内ポスター。呼びかけなど 乳幼児ハロウィンパレードのプレゼンター依頼（中止）、多世代交流事業参加（中止） 老人福祉センターのサークルや同好会の方への講師やゲスト依頼・遊びの交流。（中止）	・児童館事業が新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止をすることのにで、相互の事業の中での連携場面は、それぞれの施設内での事業のお知らせやポスター掲示等のみとなった。マジック同好会のショーへのお誘いなどもあったが、感染症の状況を考え中止とした。東山老人福祉センターの協力を得て地域のマジック同好会の方にショーを見せてもらった後に新聞紙を利用した手品の指導もしてもらえ、貴重な多世代交流のひとときとなったり、連携を元に、今後の交流のきっかけになった。
東山消防署	防災訓練協力依頼、乳幼児親子防災講座＆避難訓練と消防車見学、 防火・防災関連の視聴覚教材の提供協力依頼 子ども防火防災コンサートへの参加（中止）	・防災訓練の年間計画の中で、児童館職員が毎月子ども達と行う避難訓練の他に、協力を得てDVD等の視聴覚教材や消防士さんから話を聞いて学習をしたりする機会が持てた。コロナ禍の中で都合が合わなくなり、花火指導をしてもらう機会が持てなかったり、避難訓練の講評をもらう日をどうにか作った状況であった。今後も、事業所としての防災計画にのった職員の訓練も同時に取り組みながら、児童館主体の防災訓練の在り方を検討していきたい。
三条保育所	児童館だより配布、保育所だよりの交換PR協力、	・三条保育所との広報誌の交換を行い、相互の事業展開に関心を持って情報交換が行えた。また、参加親子で気になる親子の様子についても共有することもある。保育所が支援者支援と言う立場になられて、なかなか事業に参加を呼びかけにくいが。より良い支援者支援の保育所さんとの連携の仕方を検討していきたい。
善立寺保育園	児童館だより配布 「おでかけぽっぽ」で「園庭開放」への参加	・「おでかけぽっぽ」では、例年近隣の保育園２か園と連携して実施しているが、元から参加の少なかった上、新型コロナのこともあって更に少なくなった。当館への参加者も少なく、参加への呼びかけも難しかった。参加次年度も、相互の事業の効果的な周知や互いの機能を尊重しながら連携の在り方や展開の仕方を検討していきたい。
しんかくじこども園	児童館だより配布 「おでかけぽっぽ」で「園庭開放」・「親子で遊ぼう！」への参加	

地域福祉促進機	基本活動		つどいの広場	児童館だより配布 「とび出せ!!どんぐり広場」の活動への参加呼びかけや周知協力、活動への児童館職員の参加 乳幼児さんよっといデー「ちびっこハロウィン」の共催 「どんぐり広場（小学生）」での小学生との関わり（毎月１度）	・「とび出せ!!どんぐり広場」（つどいの広場との連携）で児童館のPRする機会として大切に捉えてはいるが、職員の勤務体制的に、取り組みへの毎回の参加は難しかった、 ・今年度も「ちびっこハロウィン」は、新型コロナの感染防止を講じた上で共催で実施した。連携して実施したことで、遊びのコーナーや親子対応が充実した。 ・今までの積み重ねてきた連携から発展した「どんぐり広場（小学生）」の交流事業を目的とした事業は、感染防止のために事業の休止をされることもあったが、子ども達にとって、季節に因んだ工作教室的な取り組み等、何か素敵な物が作れたりすることができるので、楽しいひと時となり、年間を通じて子ども達の遊びの見守り等もしていただく中で、小学生と回を重ねるごとに顔見知りにもなり多世代の方と交流するひとときにもなっている。 ・開催時間については、一般来館児童は17時に帰宅しなければならないので、学童クラブ児童の遊びのコーナー的な展開になる。
			開晴小中学校	児童館だより配布、学童児童・中学生への支援に関する情報共有等 生き方探究活き活きチャレンジ体験	・東山開晴館小中学校とは、常に連携は図っている。PTA行事や小中学校を含み地域行事が新型コロナ感染症拡大防止のため中止になり、行事への参加はなかったが、今後も、連携促進に努めたい。

＜様式１０－４＞

令和4（2022）年度　児　童　館　事　業　年　間　活　動　報　告　書　（　京都市清水　）児　童　館

				組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
地域福祉促進機能	基本活動	（4）児童館を支える地域 組織作り		東山区内基幹ステーション会議 開睛小学校区ステーションネットワーク会議	清水児童館、新道児童館、今熊野児童館、三条保育所、小松谷ありんこ広場、はぐくみ室	5月18日 6月15日	・コロナ禍における東山の子育て支援について ・地域で新規子育て支援事業をすることについて	・東山区の基幹ステーションとしての在り方や方向性について関係機関と連携を深めるために新規事業を企画。会議で承認を得て開催に向けて実行委員会を立ち上げることとする。
				東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会	主催：児童館、つどいの広場、社会福祉協議会、はぐくみ室　　協力：保育園（所）認定こども園、幼稚園、民生児童委員会、まちじゅう図書館プロジェクト	①7月27日 ②9月5日 ③12月16日	東山区地域子育て交流事業の開催に向けて協議	関係機関が」連携して実施することができ、次年度以降も続けていけるよう取り組む。支援者同士の顔が繋がり、また、乳幼児親子にも好評
				東山区地域子育て支援ステーション研修	東山区域児童館、保育園、こども園、民生児童委員、はぐくみ室	2月9日	「子どもをはぐくむ地域の力」	地域の子育て支援関係者が繋がる機会となった。
				東山区はぐくみネットワーク実行委員会	ボーイスカウト連盟、民協、社協、保護司会、少年補導委員、児童館、区役所、市教委等	①6月16日 ②8月8日 ③9月29日 ④10月24日 ⑤11月25日 ⑥1月20日 ⑦3月10日 ⑧5月19日	①今年度の取り組みと役員顔合わせ ②研修「ヤングケアラーを支える地域に向けて」及び東山リレーマラソン ③東山リレーマラソン ④はぐくみ室から事業案内 東山リレーマラソンの進捗状況 ⑤東山リレーマラソン前日準備 ⑥東山リレーマラソンの振り返り ⑦情報交換と活動の振り返り ⑧次年度の活動	・東山区全体を対象に各団体が参加し、行事や研修を通して子どもの健全育成について考える場であり、コロナ禍であってもできることを考えて、繋がることができている。 ・実行委員会に参加することで、地域の皆様と顔が繋がり、健全育成に対する声を直接聞くことができるのは、大きな成果である。
				東山区地域福祉推進委員会	東山区民生児童委員会、主任児童委員、老人福祉員、東山医師会、東山区社会福祉協議会、当事者組織、福祉施設、行政機関	①6月29日 ②9月28日 ③12月23日	①令和3年度報告、令和4年度取組 ②地域福祉シンポジウム ③シンポジウムの振り返りと東山区の現状	・地域の福祉課題について関係機関と繋がることができ、視野が広がった。
				東山区子どもの居場所情報交換会	東山区児童館、東山青少年活動センター、GUM,東山協立スクール、東山区子どもはぐくみ室、東山区社会福祉協議会、東山区地域福祉推進委員会	1月24日	・子どもの居場所支援の輪サポート事業について ・各団体の、事業所の取組紹介及び課題や展望について	・地域の中で子どもの育ちや学びを応援する居場所づくりの関係者が現状や課題を共有する場となった。
				東山区地域福祉シンポジウム	学区社協、民生児童委員、区内地域福祉関係者 東山区地域福祉推進委員会	11月15日	「誰もが参加・活躍できる地域を目指して」 基調講演と実践報告	・児童福祉だけでない地域の福祉課題を共有することで、子どもの育つ地域への理解を深めることができた。

				会場提供・備品貸出等	使　用　目　的	提供先（団体・機関等）	成果と課題
地域		（5）地域への施設提供		遊戯室	交通安全啓発事業及び防犯教室	東山警察署	児童館主催で講師依頼をした取組と、警察署の企画行事ともに、新型コロナ感染防止による事業の中止などで計画通りには実施できなかった。一般事業では取り組めなかったが、学童クラブ児童対象に招いて話をしてもらう日を設けたり、時期を調整したり開催時間を短縮するなどして実施した。今後は、乳幼児親子向けの取組も検討していきたい。

	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M
23	福祉促進機能	推進活動		調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法		成果と課題	
24												
25			（６）地域調査活動	市社協共通アンケート	利用者ニーズを知る	期間内の全利用者	京都市社会福祉協議会		記述アンケート		・小学生、中高生、保護者を対象に実施。記述式での記入欄もあり、児童館運営に反映できるよう努めている。 ・エレベーターの真横に出入り口がある点で、防犯面についての不安は、防犯カメラの存在や避難経路の表示などしていること等、来館者への説明を丁寧にしていきたい。 ・新型コロナウイルスの感染防止対策や警察との連携による防犯教室や、防災訓練を開催してしていることも伝え、安心安全に過ごせ、良き居場所であるよう努力していることも理解し協力を得られるようにしていきたい。	
26				乳幼児さんよっといデーアンケート	・講座に向けての事前調査で聞きたい内容について把握する ・講座に参加した後に講座受講後の感想の把握	乳幼児さんよっといデー参加の保護者	清水児童館		記述アンケート		保護者の方が何を求めてクラブに参加し、どういうことを学びたいか等ニーズを把握することができた。	
27				０歳児教室	・講座に向けての事前調査で聞きたい内容について把握する ・講座に参加した後に講座受講後の感想の把握 ・取り組み後の感想の把握	０歳児教室の参加保護者	清水児童館		記述アンケート		保護者のニーズが把握でき、良かった。今後の０歳児教室の内容に活かしていくようにする。	
28												
29												

＜様式１０－５＞

令和４（2022）年度　児　童　館　事　業　年　間　活　動　報　告　書　（京都市清水）児　童　館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	この表内　昨年度のまま 児童館だより	月１回	六原・清水学区自治連・民生児童委員・来館者・学童クラブ児童保護者	地域回覧・配布・「京都の児童館」のホームページの中での、インターネットでの広報	予定・お知らせ・取り組みの様子	・今年度は特に、新型コロナ感染症の感染拡大防止で活動の中止や変更、臨時休館のコロナ対策の為の利用の仕方のお知らせ、利用者登録票等のフォームを来館前に把握してもらえるように、ホームページに掲載するなどの児童館だより以外のお知らせもホームページ上で掲載することが多かった。来館せずに情報をホームページから入手されていた声が聞かれた。今後もホームページの閲覧も意識した紙面作りに努める。
			小中学校、関係機関、近隣保育園 スーパー・郵便局	掲示、窓置き		
	行事のミニビラ・申込用紙	随時	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容（日程・時間・企画）	・新型コロナ感染症の感染防止のための活動休止で、活動のお知らせポスターや、チラシの発行等ほとんど発行することができなかった。今後も、余裕を持った準備と配布に心がける。 ・行事のニュースを児童館だよりに画像掲載することもあるので、写真掲載の承諾については、当初は活動申込書で取ることで徹底して行く予定であったが、利用者に新型コロナ感染症に伴う緊急連絡に必要な個人情報を事前に把握しておく必要もあり利用者登録票にもその項目を入れ、対応することとした。
	館外活動参加申込み用紙	年４回程度	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容（日程・時間・企画）	
	行事ＰＲ看板・ポスター等	随時	地域全域・庁舎利用者 児童館利用者	設置・掲示	各行事の詳細を記載したポスターやチラシの作成配布ホームページへの掲載。	・合築のため大きな看板などの設置は難しいが、外の掲示板の有効利用や、南館1階ロビーの掲示板、必要に応じて地下のエレベーター横の壁面などにも一時的にポスター掲示をするなど掲示のできるところを増やすように働きかけた。ホームページの活用については、更に内容を充実させて、積極的なPRに努めたい。 ・区役所のデジタル掲示板の活用は現在していないが、行事によっては活用したい。 ・感染症の関係で広く参加者を呼びかけることは無理であるが、今後は、近隣の保育園やスーパーなども、児童館だよりだけではなく行事のポスター等の掲示の依頼も検討していきたい。

ファイル名	最終更新日時
2023_11_20_11_13_22_13清水令和4年度年間活動報告書　清水県	##############
2023_09_05_10_56_19_13清水令和4年度年間活動報告書　清水県	2023/9/5 11:01
2023_06_03_08_47_49_13清水令和4年度年間活動報告書　清水県	2023/6/3 8:51